

# データで振り返る 「大阪ダブル選挙」

平成29年4月9日

藤井聡

1

## 第3回 大阪都構想調査概要

- 実施時期: 2016年01月08日(金)～2016年01月09日(土)
- 対象者:
  - 大阪市在住のインターネット調査会社の  
20歳以上のモニター会員310名(=過去2回の調査回答者)
  - 男女各155名, 平均年齢45.28歳 年齢標準偏差14.54歳
- 分析の視点
  1. 誰が維新に投票したか
  2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴
  3. 都構想反対派から維新派に転じた人の特徴

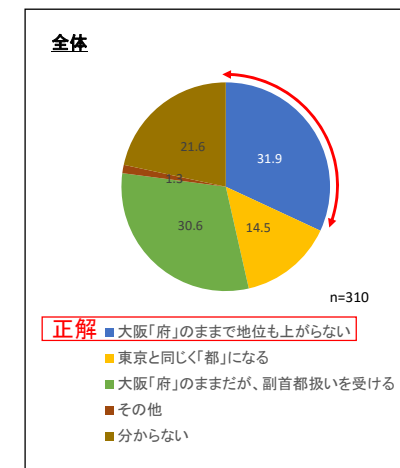
2

### 2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

#### 都構想によって大阪府はどうか

- 「大阪都構想が実現すると、大阪府はどうかと思いますか。」に対する回答結果を比較

正解者は全体では約3割



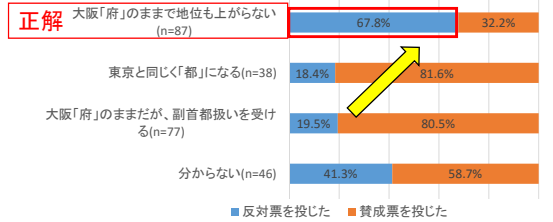
3

## 1. 都構想賛成・ 維新支持の人々の特徴

2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

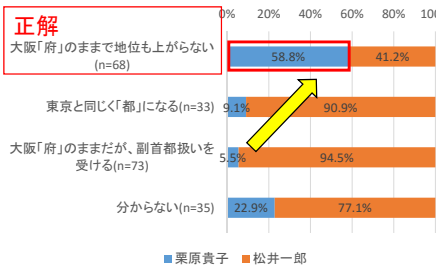
都構想によって大阪府はどうなるか(逆クロス)

都構想賛否別

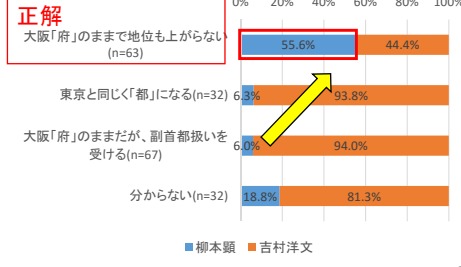


事実を知っている人は  
都構想に反対で  
維新に投票

府知事選投票先別



市長選投票先別

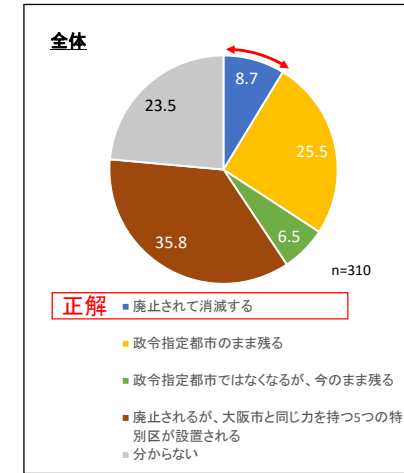


2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

都構想によって大阪市はどうなるか

・「大阪都構想が実現すると、大阪市はどうなると思いますか。」に対する回答結果を比較

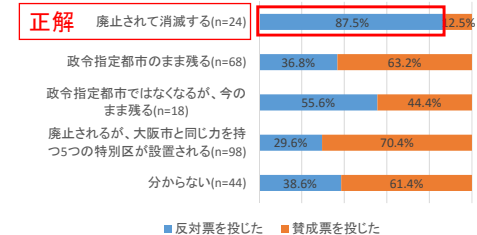
正解者は全体で1割弱(9割が理解していない！)



2. 都構想賛成派・維新支持派の特徴

都構想によって大阪市はどうなるか(逆クロス)

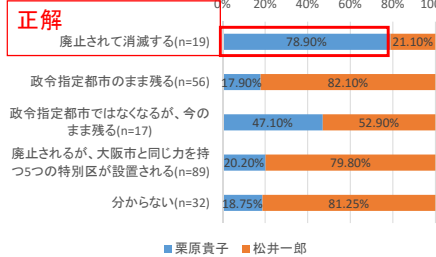
都構想賛否別



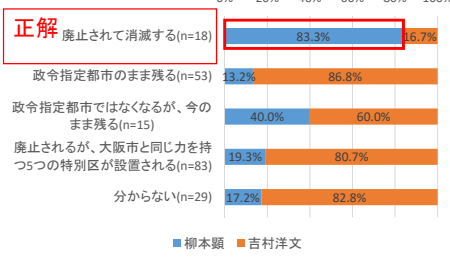
事実を知っている人の  
9割が都構想に反対

事実を知っている人の  
8割前後が非維新に投票

府知事選投票先別



市長選投票先別



要するに、「真実」を知っている人は、  
大半が都構想にも維新にも反対する。

でも、大半のが都構想の「真実」を知らなかった  
(だから、都構想の結果は拮抗！真実が知られていれば、あっさり否決されていた)

なぜそうなったのか....

「為政者の詭弁(=ウソ)」が原因では？  
これを「実証的・学術的に検証」

# 詭弁とは

- 詭弁:** ①道理に合わぬ弁論。理を非に言い曲げる弁論。こじつけの議論  
 ②相手を騙すために行われる、外見上はもっともらしい虚偽の推論  
 (広辞苑より)

詭弁のような欺瞞行為には、以下の特性があると指摘されている。

- 印象操作:** 論者が如何に誠実であるか、あるいは論敵が如何に不誠実であるか不当な印象を付与する。  
**偽装性:** 真実を隠して偽りの情報を与え、不当に自説の正当化を図る。  
 (工藤, 1990)

## 2. 為政者の政治的言説にみられる詭弁に関する実証的研究

～京都大学藤井研究室2015年度卒業論文より

## 論理学で定義されている各種詭弁

大分類	小分類	定義
非形式的虚偽	論点変更の虚偽	弱弁を強弁したり相手の正論を論駁するために、故意に論点をすりかえたり、問題となっていることがらと論理的に無関係な論点を選択する誤り。
	対人論証	ある人の言説を弁護したり論駁しようとするさい、その人の性行やその他の個人的事情に訴える誤りのこと。
	全称の誤用	例外を無視した一般化を元に論旨を展開する誤り。
	軽率な一般化	わずかの事例からこれらの事例が属する集合全体について一般命題を定立したり、あるいは望ましい結論にとって都合の良い肯定的事例のみ注目して否定的事例を無視するような所謂「単証救済」による帰納推理の誤り。
	幻法水煙	根拠のない噂をでっち上げて、人を不信と疑惑の淵に落とし入れること。
	蓋人形論法	議論において対抗する者の意見を正しく引用しなかったり、歪められた内容に基づいて反論するという誤った論法、あるいはその歪められた空室の意見そのものを指す。
	虚偽折一法	或る事柄を主張しない弁護する動機が良くないから、その事柄も受け入れられないと論じる誤り。
	因果関係誤認の虚偽	必ずしも断言できない因果関係を定立する誤り。同一の結果が複数の種類の原因から生じるにも拘らず、十分調査せず或る一種の原因であると断断する誤りなどである。
	先決問題要求の虚偽	自身の見解を支持する論証を組み立てる際、証明すべき問題の見解そのものを頭から真とみなして、前提の中に組み入れる誤り。
	語意もしくは文意曖昧の虚偽	使用される言葉が多義のため、あるいは文全体の意義がたとえば構文上の理由などで曖昧なため生じる誤り。
	類比の虚偽	二つの事物がある一点において類似しているということを根拠にして、他の点でも両者が類似しているとする誤り。
	比喩の虚偽	論証の充分な論理的根拠とみなしえないような比喩をたんに挙げるだけで自説の理由とする誤り。
	裏れみに訴える論証	相手の同情心に訴えて自説を説得する誤り。
	本質的に曖昧な語句	文脈が確定した場合でも、或る語句に万人が認めるような明快な意味を持たない語句を使用する誤り。
	総数詐術	百分率や比率によってこそよりの確な情報が提供できる事柄に関して、散らしてその発生総数だけを提示して誤解を誘導しようとする誤り。
	歪曲論証法	或る事柄に関して肯定的根拠、あるいは否定的根拠が十分でないと指摘することで、その主張が正しくないあるいは正しいとする誤り。
	形式的虚偽	或る命題の裏を論証なしに真であるとする誤り。

## 研究手法

### 分析対象の選定

- ◆分析対象者(都構想の賛成派1名、反対派(右派1名、左派1名)
  - ・橋下徹 元大阪市長
  - ・柳本顕 自民党大阪市議団幹事長
  - ・山中智子 日本共産党市議団幹事長
- ◆対象とする政治的言説
  - ・2015年2月12日放送, MBSの「VOICE」
  - ・2015年4月17日から2015年5月17日の一ヶ月間に発信されたTwitter

### 「プロトコル分析法」に基づく発話データ分析

- ・Simon & Eriksonが提案した分析方法。
- ・「詭弁」を定義した上で、複数分析者で書く発話データがそれに該当するか否かを逐一判定。両者が一致すれば確定させ、一致しない場合、両者の議論を通して詭弁種別を確定。

# 分析結果

Twitter 分析結果

	詭弁文章率 $\frac{\sum S(i,j)}{\sum W(i,j)}$	詭弁濃度 (回/100文字) $\frac{\sum N(i,j)}{\sum W(i,j)} \times 100$
橋下氏	33.9%	0.75回
柳本氏	0.2%	0.01回
山中氏	0.0%	0.00回

討論番組 発話プロトコル分析結果

	詭弁文章率 $\frac{\sum S(i,j)}{\sum W(i,j)}$	詭弁濃度 (回/100文字) $\frac{\sum N(i,j)}{\sum W(i,j)} \times 100$
橋下氏	48%	0.64回
柳本氏	2.6%	0.06回

橋下氏は、TV発言の約半分が詭弁。  
156文字話すごとに詭弁を1回、吐いていた